

半導体漫遊記

(237)

湯之上隆

パワー半導体を製造している社員約1000人の加賀東芝エレクトロニクス(石川県)で、新型コロナウイルスのクラスター(20人)が発生し、同社は4月16日~30日の間、生産を休止した。パワー半導体とは発電、送電、充電、各種機器への給電とその制御などに使われる半導体である。

石川県のHP(ホームページ)にあるサイト「新型コロナウイルス感染症の県内の患者発生状況」の公開情報を基に、加賀東芝関係のコロナ感染者20人が、いつ発症し、いつ陽性が判明したかを分析した。

まず、石川県で134番目の陽性者となった男性は、4月6日(月)

また、最も多数の社員に感染を広げた136番目の男性は、4月7日(火)に37度台の発熱

を発症し、翌8日(水)にA医療機関を受診、約1週間後の14日(火)に帰国者・接触者相談センターに相談、同日帰国者・接触者外来を受診、翌15日(水)に石川県保健環境センターにおいてPCR検査を実施したところ、陽性であることが判明した。そして136番の濃厚接触者として、14日(火)~15日(水)に合計7人が発症し、18日

合、その濃厚接触者は1~2日でPCR検査を受けている。つまり、コロナ感染者の濃厚接触者でない限り、なかなかPCR検査を受けられないのである。これは、今に至っても解決されていない日本全体の問題である。

もしコロナが疑われる症状が出た者が、速やかにPCR検査を受けることができれば、134番や136番の止を免れることができなかもしいない。パワー半導体は、PCやスマホなどの電子機器への給電以外にも発電所、鉄道、エレベーターなど社会インフラの電力制御にとっても必要不可欠な半導体である。従って、加賀東芝の工場休止は、社会システムの維持・運営に甚大な影響を及ぼす可能性がある。

諸外国では、半導体産業を社会システムの維持に必要なエッセンスと早く陽性が判明し、片っ端から濃厚接触者や同居者を隔離して検査することができたと考えられる。従って4月14日(火)と15日(水)の2日間に、発症者が大量発生するのを回避でき、工場休

場合、迅速にPCR検査を受けられるよう政府や厚生労働省に申し入れてほしい」と要請したが、ちが明かな

望を提出した。今後、何らかの動きがあることを期待している。(微細加工研究所・所

PCR検査遅延が原因か

加賀東芝でクラスター、工場休止に

であることが判明した。そして、134番の濃厚接触者など4人が15日(水)に発症し、17日(金)までに陽性が確認された。

また、最も多数の社員に感染を広げた136番目の男性は、4月7日(火)に37度台の発熱

を発症し、翌8日(水)にA医療機関を受診、約1週間後の14日(火)に帰国者・接触者相談センターに相談、同日帰国者・接触者外来を受診、翌15日(水)に石川県保健環境センターにおいてPCR検査を実施したところ、陽性であることが判明した。そして136番の濃厚接触者として、14日(火)~15日(水)に合計7人が発症し、18日

合、その濃厚接触者は1~2日でPCR検査を受けている。つまり、コロナ感染者の濃厚接触者でない限り、なかなかPCR検査を受けられないのである。これは、今に至っても解決されていない日本全体の問題である。

もしコロナが疑われる症状が出た者が、速やかにPCR検査を受けることができれば、134番や136番の止を免れることができなかもしいない。パワー半導体は、PCやスマホなどの電子機器への給電以外にも発電所、鉄道、エレベーターなど社会インフラの電力制御にとっても必要不可欠な半導体である。従って、加賀東芝の工場休止は、社会システムの維持・運営に甚大な影響を及ぼす可能性がある。

諸外国では、半導体産業を社会システムの維持に必要なエッセンスと早く陽性が判明し、片っ端から濃厚接触者や同居者を隔離して検査することができたと考えられる。従って4月14日(火)と15日(水)の2日間に、発症者が大量発生するのを回避でき、工場休

場合、迅速にPCR検査を受けられるよう政府や厚生労働省に申し入れてほしい」と要請したが、ちが明かな

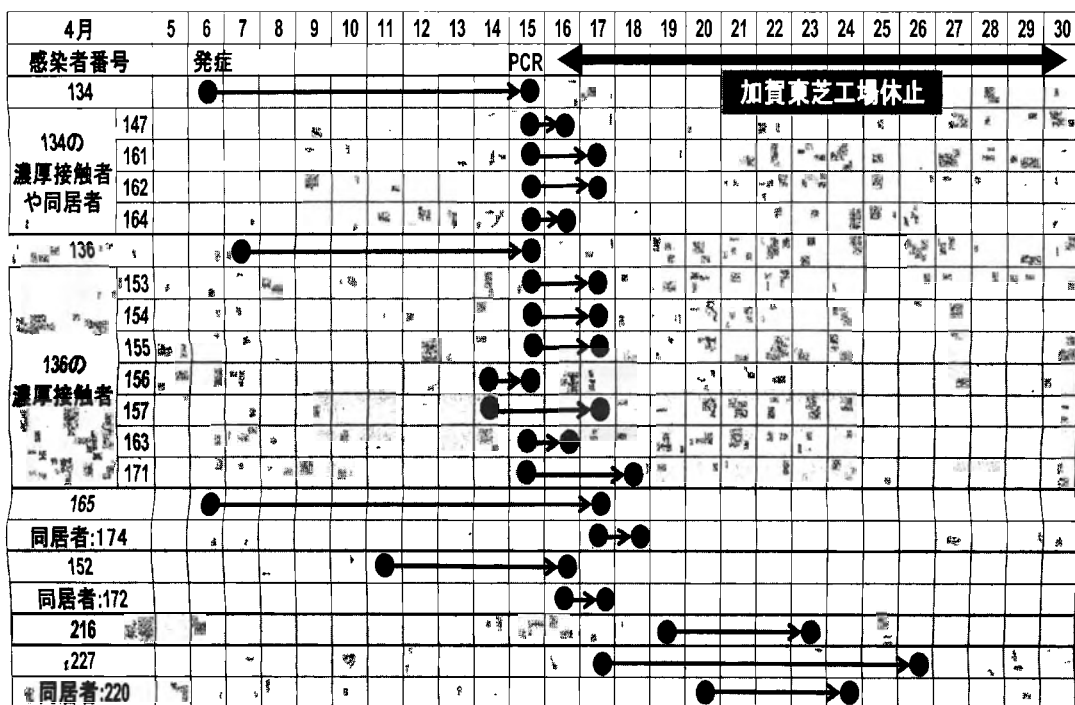


図1 加賀東芝エレクトロニクスのクラスターの発生経緯

出所:石川県の「新型コロナウイルス感染症の県内の患者発生状況」より筆者作成